

みんなが仲良くなれたかな？「なかよし班給食」のレポート

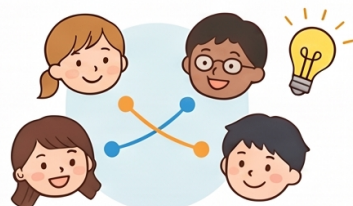
違う学年の友だちと給食を食べる「なかよし班給食」を行いました。
低学年から高学年までが交流し、お互いを知ること、学校生活をもっと楽しくすることを目的としています。

給食を食べてわかった「よかったこと」

ほとんどの人が
「楽しかった」と回答



低学年は「お兄さん・お姉さんと
食べられて嬉しい」と感じました。



他の学年のことを知る
きっかけになった

学年のカベをこえて、
新しい発見がたくさんありました。



「しりとり」が仲良くなる
魔法になった

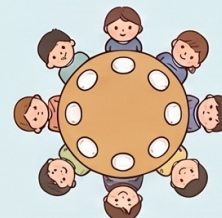
言葉遊びをすることで、
緊張がほぐれて会話が弾みました。

次の給食をもっと楽しくするための「大作戦」



「お題カード」を準備して
会話をスムーズに

好きな食べ物などのカードを置
き、話のきっかけを作ります。



「まわり座り方」で
みんなの顔を見よう

全員の顔が見える円形の座席に
すると、会話が盛り上がります。



食べる時とおしゃべりの
バランスを考える

食べることに集中しすぎない
よう、高学年がリードします。

盛り上がった理由 (班ごとの分析)

びったり環境型
(3班・4班)



特徴：円形に座って、みんなで
顔を見合わせたから

共通の趣味型
(10班・11班)



特徴：サッカーやけん玉など、
共通の話題を見つけたから

リーダー活躍型
(6班・12班)



特徴：6年生が「しりとり」などで
低学年をリードしたから